議会だより
かつらぎ

かけはし

111
2026.11

02 特集　無投票をどう捉えればいいのか?
11 一般質問　町民のおもいを届ける60分
24 特集　新庁舎 建設規模3度目の変更

かつらぎ町議会ピンチ!
13人の働きに注目



無投票となりました。

かつらぎ町選挙管理委員会

それぞれの熱い思いをもって立候補

無投票をどう捉えれば、住民の中に入って考えたい

問われる議員の決意と活動

7月14日、かつらぎ町議会議員一般選挙の受付が始まった。この日の天気は快晴。最高気温が35度を超える猛暑日となった。定数13人に対し現職7人、新人6人から立候補の届け出があったが、無投票当選となった。一般選挙で無投票となったのは、平成6年以来2回目。

無投票になったことに対し、立候補した人に責任はない。しかし、無投票当選は全員の票数がゼロ、有権者の評価を受けていない。それだけに、議員一人一人の決意と活動が問われる。

議会の努力と人口減少

議員のなり手不足が大きな課題になる中、10年前に議会モニター制度を導入し、住民の声を議会運営に生かす努力をしてきた。この制度を導入すれば、モニターから議員が生まれるという期待もあった。実際に議員になった人は4人。

昨年11月の議会だよりでは「議員になろうよ」という特集を組み、立候補を呼びかけた。

人口減少のなか、議員定数と報酬の在り方が問われている。議会は、住民の中に入って、意見交換を行いたいと思っている。

議員の決意



藤本　憲一（ふじもと　けんいち）議長

議員のなり手不足解消に全力を尽くし、町民に信頼され、若い世代が自分も議員を目指したいと思える開かれた議会を目指します。



山下　慎二（やました　しんじ）副議長

選挙の重要性を感じながら、住民の声にしっかりと耳を傾け、誠心誠意全力で取り組み、未来に誇れるかつらぎ町を築きます。



東芝　弘明（とうしば　ひろあき）議員

弱い立場の人々に寄り添って活動するのが議員の仕事だと思っています。忖度はしない。議会みんなで住民と懇談していきたい。

松岡　宏行（まつおか　ひろゆき）議員

立場の弱い人が大切にされる社会を目指します。そのため、皆さまの声を基に政策提案し、実現できなければ何回も提案します。



滝ノ上　万記（たきのうえ　かずのり）議員

「お互い様」の心を礎に。医療、介護、移動手段の充実や子育て支援など、誰もが住み慣れた町で安心できる環境づくりを進めます。



表具　弘（ひょうぐ　ひろし）議員

無投票だからこそ皆さまとの対話を大切に。現場の声を行政へ力強く届け、託された2期目の重責を全力で果たします。



大山　希世（おおやま　きよ）議員

4年間、議員として仕事させて頂けることに感謝です。私のテーマ「3世代がささえあう町づくり」に向け、耳を傾け更に努力します。



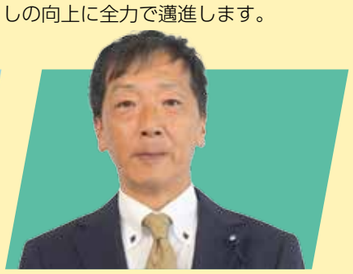
田村　哲男（たむら　てつお）議員

地域との交流を深め、その声を町政に届けて実現させるよう努めます。そして賑やかで活気ある地域を創り出すため活動いたします。



下村　清隆（しもむら　きよたか）議員

「恩送りで　未来へつなぐ」町民一人一人の声を大切に、世代を超え支え合い、子どもたちに誇れるかつらぎ町を共に築きます。



橋谷　典仁（はしたに　のりひと）議員

身近な困り事に寄り添い、地域をよくしたい。安心して暮らせる地域づくりに尽力します。地域への恩返しの思いがあります。



女良畑　政幸（じょろばた　まさゆき）議員

定数13に対し立候補者13人。町のために何とかしようという人がもっと増えてほしい。そのためにも私はこの4年間がんばります。

北岡　慶久（きたおか　よしひさ）議員

地域を歩き、皆さんの声を聴くことから始めます。笑顔とふれあいを大切に、身近な議員として行動します。



薮本　珠代（やぶもと　たまよ）議員

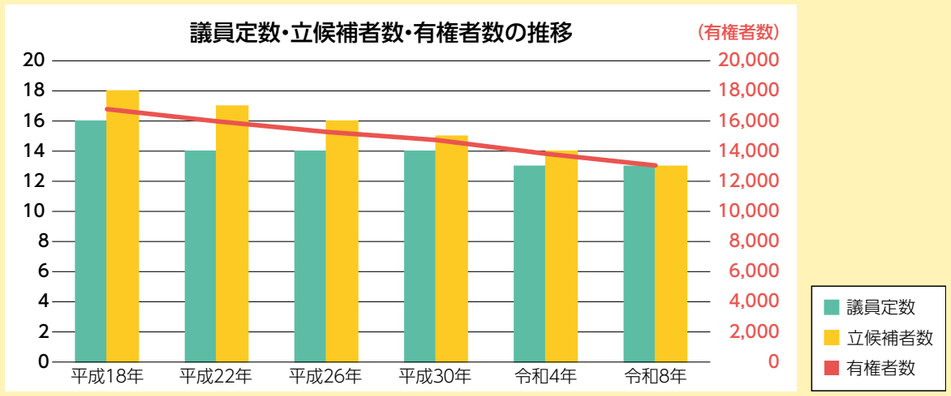
民意を聞けなかったことは残念です。無投票当選の重みを胸に期待に応えるべく、町の発展と暮らしの向上に全力で邁進します。

無投票になった感想

無投票は仕方ないが、住民が意思を示す機会が減るのは残念だ。

寺尾　越道　陸至（こしみち　りくし）さん





議会を傍聴して　[70代]　災害時の協力井戸の件、とても大切だと思います。協力井戸をカイトに1個備えるよう補助金を出してほしい。

議会を傍聴して　いただいた傍聴アンケートを基本的に原文のまま掲載しています（個人を特定できる表記は除いています）。

議会の新体制決まる

藤本憲一議長、山下慎二副議長選出

7月会議で、議長・副議長をはじめ、常任委員会や特別委員会、一部事務組合議会など新体制が決まった。



議長　藤本　憲一



副議長　山下　慎二



総務産業常任委員会

委員長　滝ノ上万記
副委員長　下村　清隆
委員　松岡　宏行
〃　表具　弘
〃　田村　哲男
〃　藪本　珠代

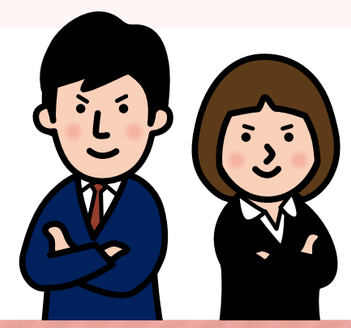
まちづくり、防災、農林、土木、水道他を担当する。



厚生文教常任委員会

委員長　大山　希世
副委員長　北岡　慶久
委員　山下　慎二
〃　東芝　弘明
〃　女良畑政幸
〃　橋谷　典仁

福祉、社会保障、教育、環境他を担当する。





全ての委員会を傍聴することができます

議会だよりキャラクター「かきかあちゃん」

議会運営委員会

委員長　東芝　弘明
副委員長　表具　弘
委員　山下　慎二
〃　松岡　宏行
〃　橋谷　典仁
〃　下村　清隆

議会運営について協議し、議長の求めに応じて調査を行う。

議会だより編集特別委員会

委員長　東芝　弘明
副委員長　橋谷　典仁
委員　山下　慎二
〃　大山　希世
〃　藪本　珠代
〃　下村　清隆

議会だよりの編集と発行を行う。

広報広聴特別委員会

委員長　滝ノ上万記
副委員長　女良畑政幸
委員　松岡　宏行
〃　表具　弘
〃　田村　哲男
〃　北岡　慶久

住民との懇談や議会モニター制度の運営を行う。

庁舎建設調査検討特別委員会

委員長　松岡　宏行
副委員長　藪本　珠代
委員　山下　慎二
〃　東芝　弘明
〃　滝ノ上万記
〃　表具　弘
〃　大山　希世
〃　田村　哲男
〃　北岡　慶久
〃　女良畑政幸
〃　橋谷　典仁
〃　下村　清隆

庁舎建設について調査と検討を行う。

デジタル化推進特別委員会

委員長　大山　希世
副委員長　田村　哲男
委員　山下　慎二
〃　東芝　弘明
〃　松岡　宏行
〃　滝ノ上万記
〃　表具　弘
〃　藪本　珠代
〃　北岡　慶久
〃　女良畑政幸
〃　橋谷　典仁
〃　下村　清隆

デジタル化の推進について検討を行う。

監査委員（議会選出）

松岡　宏行

組合議会関係

一部事務組合と広域連合は、市町村の合同事務を行う特別地方公共団体。これらの議会は、各市町村議員から構成される。

伊都消防組合議会議員
藤本　憲一
滝ノ上万記

橋本伊都衛生施設組合議会議員
藤本　憲一
山下　慎二
東芝　弘明

伊都郡町村及び橋本市児童福祉施設事務組合議会議員
橋谷　典仁

伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合議会議員
北岡　慶久

橋本周辺広域市町村圏組合議会議員
藤本　憲一
女良畑政幸
下村　清隆

和歌山県後期高齢者医療広域連合議会議員
山下　慎二

議会を傍聴して | 防災・災害に対する住民の現在の心配事を課題に順応した質問に対して大変うれしく感じた。

議会を傍聴して | [70代] | クビアカツヤカミキリ対策の発言、今、しないと、大変な事になると思います。

9月 会議

議案審議

9月会議には、町立図書館基金と農業人材育成基金の条例制定をはじめ、志賀飲料水供給施設の加入分担金設定の条例改正、三谷公民館建替関係の工事請負契約などとともに、病児保育事業を含む一般会計補正予算などが提出され、全員賛成で可決した。

9月会議（8/27～9/17）	
人事	4件
補正予算	7件
決算	9件
条例	10件
契約	8件
諸報告	2件
一般質問	11人

伊都橋本管内で病児保育施設設置へ

【一般会計補正予算】


既存の施設を改修して令和9年4月から病児保育スタート（紀和病院敷地内）

内容 発熱などを伴う病気の乳幼児を、医師の診察後に受け入れる病児保育施設が設置される。場所は橋本市の紀和病院敷地内。この事業の実施主体は橋本市。かつらぎ町、九度山町および高野町は、橋本市と協定を結び、施設改修費や運営経費を負担する。病児保育施設で受け入れ可能な子どもの人数は6人を予定。保育士と看護師が基準に基づき配置される。

問 **受け入れ人数の根拠は。**

こども未来課長 施設規模、従事者の体制などを協議した。

問 **改修内容は。**

こども未来課長 トイレや手洗い場と、部屋を2つに分ける工事などを行う。

詳細を早く知りたい

とても良い制度だと思います。料金などの詳細も気になります。

中飯降
梶川　貴司（かじかわ　たかし）さん

農家の勉強会へ毎年60万円

【農業人材育成基金条例制定】

内容 匿名で300万円の寄附が行われたので、基金条例を作り、年60万円を活用する。町は、この基金を生かすために農家を対象に学習グループを組織する。

問 **モモやウメ、カキなど農家の作付けが違う。学習内容が違ってくるし、提案などが出てくるのでは。**

農林振興課長 活動を通じて得られた提案などは、農業の振興および持続的な発展の施策に繋がるよう検証したい。



議会を傍聴しよう！ | 学校における避難訓練の実行性。本来の訓練に！

残念　田舎暮らし体験住宅廃止

【田舎暮らし体験住宅の条例廃止】

内容 平成30年から8年間使用した田舎暮らし体験住宅が廃止される。天野、新城および四郷に1軒ずつあった体験住宅を利用したのは14人、内4人が定住した。実績はあるものの、住宅の老朽化が進み、修繕費用が嵩んできたので条例を廃止する。

問 **定住に至らなかった利用者が、現在も地域の行事などに参加し、地域との関係が続いている。関係人口という観点では、事業の成果として評価できるのではないか。**

まちづくり推進課長 利用者が地域に関わり続けていることはうれしく思う。


受け入れにあたって住環境を整えた体験住宅（広口地内）

地域での住まい探し

1年の期間に、希望の地域内で住宅を見つけることは困難だった。

上天野
清水　茜（しみず　あかね）さん



町立図書館へ毎年100万円本のプレゼント

【町立図書館基金条例制定】

内容 匿名で500万円の寄附が行われたので、基金条例を作る。子どものころ、本から学んだことが人生の糧になったという思いのこもった寄附だった。この趣旨を生かし、毎年100万円ずつ本や備品を購入する。

問 **購入する書籍の内容は。**

生涯学習課長 児童図書に限らず、図書の充実を図りたい。


ますます図書充実へ



議会を傍聴しよう！ | [70代] | するどい質問評価します。

こどもへの性暴力防止新たな対策

内容 こども性暴力防止法の施行に伴う関係条例の改正。対象となるのは学校、保育所、こども園および幼稚園など。「※特定性犯罪」を犯し禁固刑、執行猶予および罰金刑を受けた者の調査を行い、事実を踏まえ配置転換、職種替えの措置がとられる。また採用時の調査では、不採用の対象となる。学習塾、スポーツクラブ、放課後児童クラブ（学童保育）などの分野でも取り組みを行う。施行は12月。



性暴力防止へ取り組みスタート（案内チラシ）

問 **対象となる教員および保育士は全国で何人いるのか。どのくらいの期間をかけて調査するのか。**

こども未来課長 全国で約280万人。3年程度をかけて調査する。



！ ※特定性犯罪とは
不同意わいせつ、児童買春、児童ポルノ所持、痴漢、盗撮および未成年淫行など

加入分担金の見直しを

【水道事業及び下水道事業に関する条例改正】

内容 下志賀飲料水供給施設を町が管理することに伴って、加入分担金を25万円に設定する条例改正。3カ所の簡易水道は、上水道と同額で加入分担金が15万4500円。今回の下志賀も含め25万円の施設が4カ所ある。また高額な分担金（これらの施設は25万円の負担になるよう補助金を支給）の施設が6カ所ある。

問 **整備後も給水開始が遅れる世帯があるが、その理由は。**

上下水道課長 11戸については、送水に必要な加圧配水ポンプ場が令和9年3月に完成予定であり、給水開始時期に違いが生じる。

問 **加入分担金は地域ごとに歴史があり、その結果、金額に差が生じている。上水道と同額の15万4500円に統一する考えはあるのか。**

町長 地域の声も聴きながら判断したい。

笠田小学校の空調機器更新へ

【工事請負契約の締結】

内容 6711万1000円をかけて笠田小学校の空調機器が更新される。新校舎建設から15年が経っている中での更新となった。


空調機器更新で引き続き学びの環境維持（笠田小学校教室）

議会を傍聴して ［70代］ クビアカツヤカミキリ、かつらぎ町がダントツに発生しているのにはビックリです。

三谷公民館いよいよ建て替え

【工事請負契約の締結】

内容 三谷公民館の建築、電気設備および機械設備各工事の契約。事業費の総額は4億1540万5100円。

消防団のポンプなどを購入

【物品売買契約の締結】

内容 小型動力消防ポンプおよび積載車各5台と、消防ポンプ自動車1台を購入する。物価がかなり上昇しているので負担が増えた。

問 **消防ポンプ自動車は物価高騰などの影響で、どの程度高くなっているのか。**

管財課長 令和6年度購入時の同じタイプと比べ、約200万円高くなっている。

前年度と比べ改善

【令和8年度健全化判断比率（令和7年度決算）】
【令和8年度資金不足比率（令和7年度決算）】

内容 健全化判断比率および公営企業の資金不足比率が報告された。実質公債費比率は、本町が毎年どれだけ借金を返しているかを示す指標。将来負担比率は、本町の借金総額を示す指標。（下表参照）

問 **金利はどうなるのか。**

会計課長 令和7年3月以降、借入金利が上昇している。例えば1・4%だった金利は、令和8年3月には3・0%となっている。

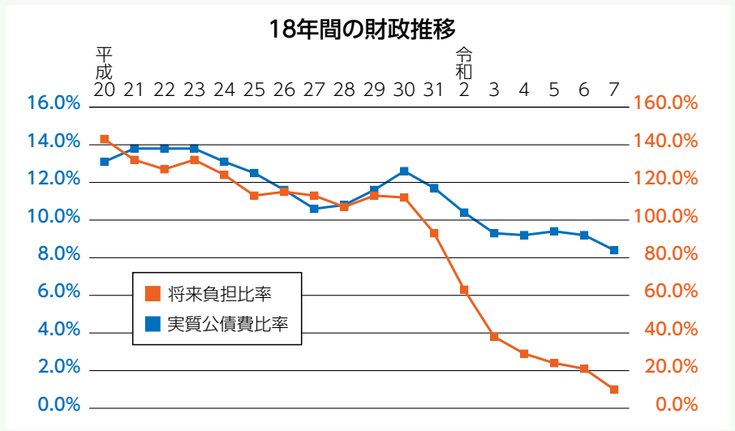

当局への審査を前に共通認識を高める（決算審査特別委員会）

問われる充実した決算審査

9月末から決算審査特別委員会が開催される。予算は町当局がほぼ半年かけて作成しているが、事業の見積書という性格がある。決算書では事業本来の目的や成果、行政課題が見えてくる。財政分析も重要。充実した決算審査が求められる。決算審査の様子は録画配信される。

決算審査特別委員会

委員長 表具 弘
副委員長 東芝 弘明
委員 田村 哲男
〃 北岡 慶久
〃 女良畑政幸
〃 下村 清隆



数字は低いほど良い

令和8年度健全化判断比率（令和7年度決算） （単位:%）

区分	健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率	8.4	25.0	35.0
将来負担比率	10.2	350.0	

議会を傍聴して ［20代］ 職員間にある世代間ギャップの大きさを実感することができた。若い世代の退職の多さについての実情を知れた。

7月会議

7月会議では、議長・副議長の選出をはじめ議会の構成（P4～5参照）が決まるとともに、交通事故（物損）による損害賠償の専決処分が報告された。また、一般会計補正予算は全員賛成で可決した。

7月会議（7/31～8/3）	
専決処分	2件
選挙	7件
人事	2件
補正予算	1件

事故はなぜ起きたのか

【損害賠償の和解及び損害賠償の額を定める】



再発防止対策が行われた四邑2号線（御所地内）

問 町の損害賠償額は約155万円。物損事故の内容は。

建設課長 民間発注工事の現場に向かっていたミキサー車が、誤って町道四邑2号線に進入し横転した。クレーン車による引き上げが困難であり、現地で車を切断して引き上げた。

問 再発防止策は。

建設課長 町道入口に道路が狭小となる表示の看板を設置した。

物価高騰対策 JCB商品券の購入

【一般会計補正予算】
【物品売買契約の締結】

内容 物価高騰対策としてJCB商品券を購入する。配付対象は18歳以下の子どもと75歳以上の高齢者。1人3000円を5645人に配付。



有効に活用したい

4人姉弟です。子育て支援など充実した施策に感謝します。

笠田中　中川さん（写真左から）
裕貴（ゆうき）さん　裕雅（ゆうま）さん　悠里（ゆり）さん
侑柚（ゆず）さん　征哉（ゆきや）さん　結夢（ゆめ）さん

7月・9月会議採決状況（賛否が分かれた議案は0件）

	件名・会計名	結果	藤本	山下	東芝	松岡	滝ノ上	表具	大山	田村	薮本	北岡	女良畑	橋谷	下村
7月会議	監査委員の選任（識見委員）	12対0で同意	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月会議	監査委員の選任（議選委員）	11対0で同意	－	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月会議	一般会計補正予算（第2号）	12対0で可決	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月会議	公平委員会委員の選任など4件	12対0で同意	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月会議	認可地縁団体印鑑条例の一部改正など10件 工事請負契約の締結など9件 一般会計補正予算（第3号）など7件	12対0で可決	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

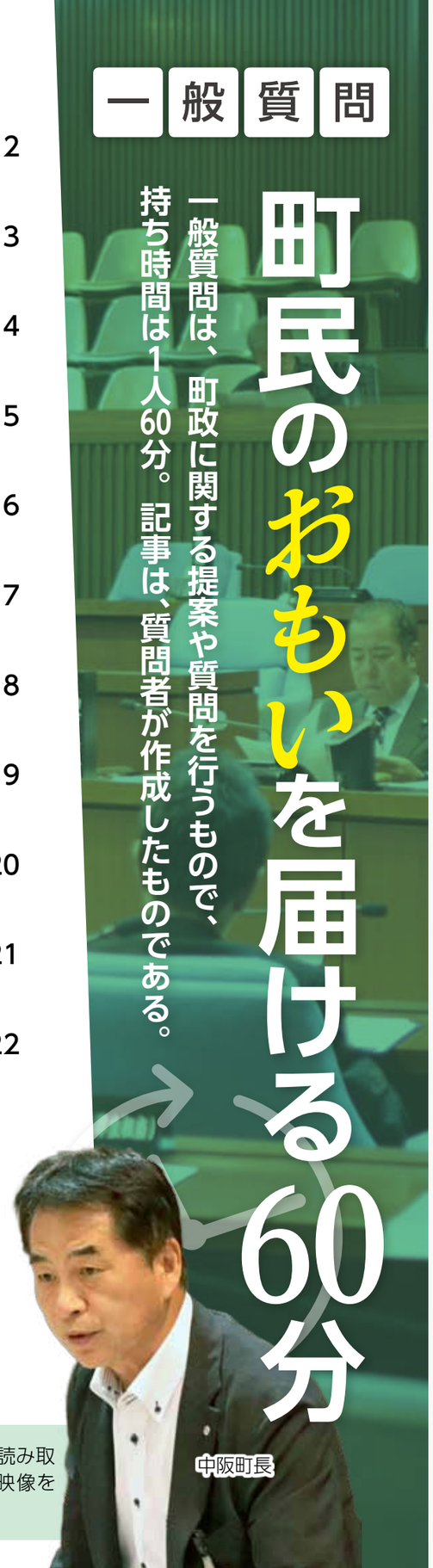
（注）藤本議員は、議長のため採決には加わらない。松岡議員は、監査委員（議選）候補者のため採決には加わらない。　○は賛成

議会を傍聴してみて　[40代]　議会をYouTubeで配信しているのをURLをつけてLINEやインスタで情報発信したらいいと思う。

一般質問

町民のおもいを届ける60分

一般質問は、町政に関する提案や質問を行うもので、持ち時間は1人60分。記事は、質問者が作成したものである。


中阪町長

さらに災害井戸登録の呼びかけを
大山　希世 …… 12

ストーマ装具の基準額引き上げを
東芝　弘明 …… 13

町民の声をどう返す
北岡　慶久 …… 14

防災資機材や備蓄品の平準化を
山下　慎二 …… 15

船岡山を観光資源に
橋谷　典仁 …… 16

住民の生命と財産を守る防犯対策
女良畑政幸 …… 17

住民に身近な集会所を生かすには
表具　弘 …… 18

道路異常を発見した際の通報は
滝ノ上万記 …… 19

地域の人材を防災につなぐには
下村　清隆 …… 20

見守り配食サービスの充実を
松岡　宏行 …… 21

下水道　今後の見直しは
薮本　珠代 …… 22

福祉 7回

令和8年中に行った一般質問テーマ

行政運営 / まちづくり 各6回

教育 / 環境 各5回

防災 / 建設 各3回

農林 / 行政改革 各2回

税 / 防犯 / 観光 / 水道 各1回

各ページの二次元コードを読み取ると、ユーチューブで質問映像を見ることができます。

さらに災害井戸登録の呼びかけを

［危機管理課長］地域などに出向きお願いする



大山　希世 議員

問　**現在の耐震性水道本管への更新状況と今後の計画は。また、ダクタイル鋳鉄管とは。**

上下水道課長　本管の総延長は約126キロメートルあり、うち25キロメートルが耐震管へ更新済み。令和6年度は250メートルの更新を実施した。令和7年度から9年度で約80メートルの更新計画を進めていく。ダクタイル鋳鉄管とは、鉄の強さと鋳鉄のしなやかさを合わせ持ち、100年以上の耐久性と、高い耐震性を有する。布設替えはダクタイル鋳鉄管を基本としている。

問　**住民から災害時協力井戸の申し出は何件あったか。**

危機管理課長　問い合わせは数件。登録は3件。

問　**今後の計画目標は。**

危機管理課長　旧小学校区を基本に10ブロックに分け、各ブロックで5カ所とし、町全体で50カ所の設置を目標としている。

問　**かなり高い目標。理解と協力を得るためにどのような周知を行うのか。また、必要性をより理解してもらうため、動画なども活用してはどうか。**

危機管理課長　災害時における生活用水確保の重要性の理解を得るため、画像や映像を用いることは効果的。登録までの流れや、注意点をまとめたチラシの作成や配布に加え、地域や自主防災組織へ出向き協力をお願いする。

問　**工事が進みにくい理由は。**

上下水道課長　工事費の確保や専門技術者の不足。断水や道路通行止の影響を考慮した仮設配管の設置や、そのルート選定に慎重な検討を要するため。

職員が働き続けたくなる職場へ



大規模地震の揺れにも耐えるダクタイル鋳鉄管



災害時協力井戸として登録している井戸の1つ
町内50カ所設置の目標に向け取り組む

問　**持続可能な行政運営と、行き届いた住民サービス提供に向け、職員のモチベーション維持・向上のため、次の提案を行った。**

- 住民からのお褒めのメッセージを全職員で共有
- 本町活性化のためのプロジェクト提案に対する予算化や、主体的な活動への評価
- 職員同士が日々の業務で感謝を文字で交わし共有する、ピアボーナスサンクス制度の導入など

コツコツ頑張る職員が評価される仕組みなどを求めた。

ストーマ装具の基準額引き上げを

［町長］早期実施に向け検討を進める



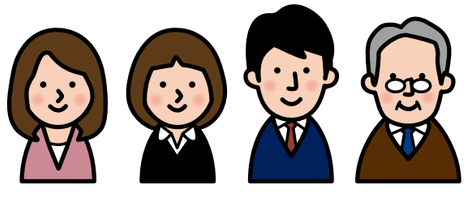
東芝　弘明 議員

問　**障害者自立支援法から障害者総合支援法に変わった経緯と、本町独自の日常生活用具給付の拡充状況は。**

福祉介護課長　2006年施行の障害者自立支援法の1割の応益負担に対する違憲訴訟などを背景に、負担ゼロを含む応能負担へと転換した。本町では、人工内耳用装置や電池などへの対象拡充を行っている。ストーマ装具（人工肛門または人工膀胱）の給付基準額の具体的な見直しを検討している。

問　**物価高によりオストメイト（手術により腹部にストーマを造設した人）の自己負担が重くなっている。尿路系1万5000円、消化器系1万3000円へ基準額を引き上げるとともに、1割負担も免除すべきでは。**

町長　ストーマ装具は生活に直結する必需品であり、生存権に深く関わるため、本町として主体的に適正な額を検討する。基準額の引き上げとともに、1割の自己負担を撤廃することも含め、早期の実施に向け検討を進める。



クビアカツヤカミキリ対策の強化を

［農林振興課長］職員配置や委託で空白地帯をなくす



防除ネットを食い破り出てくるクビアカツヤカミキリ（大薮地内）

問　**クビアカツヤカミキリの被害は、和歌山県内で本町が突出している。伐採・抜根以外に選択肢がないほどの甚大な状況に達している可能性は。**

町長　鳥獣害を大きく超える深刻な被害と認識している。しかし、改植に伴う未収益期間の収入減などの問題から、全ての農家に伐採や抜根の同意を得るのは現状では難しい。

問　**現在の対策で被害を食い止める効果は上がっているか。**

農林振興課長　被害は増加傾向にあるが、爆発的な蔓延を防ぐ一定の防除効果は出ている。今後は、個別対応だけではなく、耕作放棄地なども含めた面的な重点区域などを設定し、被害拡大を確実に食い止めたい。

問　**伐採・抜根後の改植や未収益期間に対する新たな補助制度が明らかになった。JAと連携して活用すべき。また、複数の人員増による体制強化を図り、果樹農業と地域経済を守るために全力を傾注してほしい。**

農林振興課長　JAと連携して補助制度の活用を図る。また、会計年度任用職員の配置や民間事業者への委託により、耕作放棄地の現状調査を進め、所有者への働きかけを徹底し防除の空白地帯をなくしたい。

町民の声をどう返す

［町長］データの保存や活用方法を考える



北岡　慶久 議員

問　**令和7年度に町政意見箱やホームページ、LINEを通じて、どの程度の意見や要望が寄せられ、改善や事業につながった事例はあるのか。**

総務課長　令和7年度は町政意見箱22件、ホームページ13件、LINE19件の計54件の意見や要望が寄せられた。児童館の休館情報のLINE配信や、令和8年4月から運行するデマンド乗合交通「かつらいど」など、改善や事業につながった事例もある。検討に時間を要する案件も継続して状況を確認している。

問　**道路などの地域要望はどのように対応し、早期に対応できない要望はどのように管理しているのか。**

建設課長　要望内容の聞き取りや現地確認を行い、危険度や経済性などを踏まえて優先順位をつけている。早期に対応できない要望は「道路等の要望に関する早期対応計画」で進捗を管理し、毎年度見直している。毎年4月には各地区の自治区長に執行状況や予定を説明し、交代後も要望が引き継がれるよう対応している。

問　**行政報告会で寄せられた意見や要望は、どのように整理・管理し、住民へ回答しているのか。**

企画公室長　行政報告会は、住民の声を政策に反映させるため、令和4年度から毎年度実施し、5年間で延べ2645人が参加、564件の質問が寄せられた。回答を保留したものは企画公室で整理・管理し、担当課などと情報共有して、後日、自治区長または質問者に回答している。

問　**総務課、企画公室で要望や意見を管理していることが分かった。町民の声を庁内で共有し、受付から対応までで継続して管理し、その経過や結果を町民に返すことについて、町長の考えは。**

町長　一元化は簡単ではなく、データの保存や活用方法を考える必要がある。今後はAIを活用した管理やホームページとの連携、現在の職員数で対応できる方法も含めて検討していく。

まとめ　全ての要望の実現を求めているのではない。できることもあれば、できないこともある。大切なのは、町民から寄せられた声がどうなったのか、その経過や結果がきちんと返ってくることである。町民の声を聴き、行政が考え対応し、その結果を町民に返す。そうした循環を積み重ねることが、行政への信頼につながると考える。今回の答弁にあったAIの活用などにも期待したい。

　このほか「職員の人材確保・育成と組織づくりについて」質問した。



本庁舎の町政意見箱には22件の要望や意見が寄せられた
花園支所玄関にも設置されている

防災資機材や備蓄品の平準化を

［町長］各地域のニーズに添って進める



山下　慎二 議員

問　**自主防災組織の活動は、平常時と災害時に大きく分けられ、大変重要な役割をしている。自主防災組織による避難訓練が全ての組織で行われているのか。また、どのような訓練なのか。**

危機管理課長　全69組織のうち、合同開催を含めて34組織で開催している。避難行動訓練、避難所開設訓練、体験型訓練など地域の特性に応じた実践的な取り組みを行っている。

問　**全国では、備蓄品の平準化に取り組む自治体が増えている。自主防災組織ごとに大きな隔たりがないよう、標準的な備蓄リストの作成を進めてはどうか。**

危機管理課長　標準的な備蓄リストの作成は、非常時への備えとして重要な視点である。一定の基準に基づいて備蓄を進めることは大切と考える。

問　**必要なものを整備する取り組みを、強化することが必要である。クラウドファンディングなど有効的な手段を使って、防災資機材や備蓄品の平準化を目指し、地域防災力の向上を図ることが重要であると思うが、本町の考えは。**

町長　クラウドファンディングは、災害用トイレカー導入時には随分と役に立った。多くの方の賛同を得ながら、魅力的で特色のあるプロジェクトを立ち上げることが、非常に重要である。外部の財源を積極的に活用しながら、各地域の実情に応じたニーズに寄り添って進めたい。



充実した防災資機材を完備（真和防災倉庫）

年3回程度の避難訓練を

［教育長］効果と負担のバランスを考える

問　**小・中学校の防災訓練や避難訓練の内容は。**

教育総務課長　各学校では、防火訓練並びに地震を想定した避難訓練を実施している。事前講習を行い、校内放送による伝達、通報の訓練、安全な場所への避難誘導訓練を行っている。

問　**防火設備、避難設備を誰が、どのような頻度で点検しているのか。**

教育総務課長　教頭や施設担当教職員などを責任者と定め、校内巡視と年2回の点検を実施、消火器の使用期限や屋内消火栓の状況などを確認している。

問　**教職員の負担、保護者や地域住民の負担を理解した上で、訓練・検証・改善ができる仕組みを考え、年3回程度、避難訓練の実施ができないか。**

教育長　回数にとらわれず訓練内容の充実を図りながら、学校や保護者、地域の方々への負担にも配慮し、効果と負担のバランスを考え、改善に努めたい。

船岡山を観光資源に

［町長］地域と一緒に考え進めたい



橋谷　典仁 議員

問　**船岡山とその周辺について、どの部署が所管し、どの範囲までを管理対象としているのか。**

まちづくり推進課長　駐車場、遊歩道、厳島（いつくしま）橋（ばし）については、まちづくり推進課が所管し、維持管理を行っている。船岡山の山林や社殿周辺の大部分は厳島神社の境内地であるため、神社関係者や地元で維持管理を行っている。

問　**吊り橋や遊歩道の老朽化、補修が必要な危険箇所の点検を行っているのか。**

まちづくり推進課長　日常の点検や維持管理が十分に行き届いていなかったところもあるが、今年度に入り、複数回にわたり現地を確認し、現状の把握に努めている。草木の繁茂（はんも）や一部の手すりの老朽化、倒木などにより、歩行に支障が生じている箇所があることは、町も認識している。具体的な対応方法について、関係機関と協議を進めている。

建設課長　吊り橋に関しては毎年5月頃、職員による点検を実施している。3年に一度、国土交通省との合同点検も実施。点検項目は、橋の上部工・下部工の施設状況をはじめ、ワイヤーや主塔（しゅとう）、床版（しょうばん）、高欄（こうらん）などの構造や取付護岸の状況などを目視により確認。

問　**自然を守る視点と、美観維持についての方向性は。**

参事（建設・産業担当）　今後、美しい景観を守るために、まずは枯れた木の状況や、周りの森への影響について、地元関係者と連携しながら情報を共有し、しっかりと現状を把握したい。行政として、どのような対策や保護が実施可能なのかを慎重に調査・研究を進める。

問　**安全点検や維持管理の見直し、観光資源としての活用をどう考えているのか。**

町長　本町が誇る地理、歴史、文学などが凝縮された、かけがえのない大切な地域資源。名所として非常に高い文学的な価値を有すると理解している。電気や水をどうするのか。町としてどのような形で観光資源として活用できるか検討する。来年度には着手できるようスケジュール感を持って、地域と一緒に考え進めたい。



万葉集に歌われている船岡山（島地区）



整備されていない危険な遊歩道

住民の生命と財産を守る防犯対策

［町長］提案を検討しながら生かしていく



女良畑政幸 議員

問　**本町の第5次長期総合計画の「住民の生命と財産を守り、安全で安心して暮らせるまちをめざします」の根拠は。**

総務課長　憲法上の理念と個別法に基づく法的義務という、明確な裏づけに基づいている。

問　**犯罪から住民を守るということも、自治体の使命に含まれているのか。**

総務課長　「住民の福祉の増進を図る」という自治体の基本的使命を果たすための重要な責務に含まれている。

問　**フルーツの盗難事件が発生した。さまざまな事件も起こり得る可能性がある。犯罪のないまちづくりを目指すために、防犯カメラの台数を増やして、ネットワークを町内全体に構築する必要がある。個人住宅や事業所が設置したカメラも補助の対象にしては。**

総務課長　「かつらぎ町防犯カメラ設置計画」が令和9年度で終了するので、新たに防犯カメラ設置補助金制度を検討している。現時点では、自治区や町内会による設置を補助対象とすることを想定している。

問　**背ノ山地区にある元飲食店の壁に大きな落書きが目に入ってくる。こういう状態を放っておくと「割れ窓理論」のように、さらなる被害につながる可能性がある。素早く対応する必要があるので、宮城県仙台市のように落書き消去用具の貸し出しを行っては。また、塗装修理代についての補助の検討を。**

総務課長　個人の所有物である空き施設などの管理や、落書き被害の現状回復は、基本的には所有者が責任を持って対応する「自助」の領域。消去用具の貸し出しは検討していく。

問　**防犯カメラや感知センサーを設置した場合、抑止力向上のため、もっと表示を大きく、夜間も含めわかりやすい素材にして、防犯カメラの支柱の横に設置する考えは。**

総務課長　現在設置している防犯カメラについて現地を確認し、視認性の低い箇所にはステッカーの貼り替えや看板設置など、効果的な表示方法の改善に向けて前向きに検討する。

問　**もっと住民の意識に伝わる方法として、地元に出向く啓発活動を行っては。**

総務課長　防犯自治会や警察署と緊密に連携を図りながら、地域に出向く啓発活動や、情報伝達のさらなる充実に向け、取り組みたい。

問　**犯罪から住民を守る対策について、町長の考えは。**

町長　安全・安心なまちづくりを考えると、提案のあった内容については検討しながら、まちづくりに生かしていく。



防犯カメラの台数増が犯罪を減らすカギになるはず
（町が設置した大谷駅周辺の防犯カメラ）

住民に身近な集会所を生かすには

［総務課長］各地域の主体的な活動に委ねている



表具　弘 議員

問　**町内の集会所の数は。**

総務課長　総務課が所管する町有施設で集会所として活用されている施設が18、各自治区や町内会が主体となって建設され、町が集会所維持費補助金を交付している施設が52である。

問　**集会所維持費補助金の交付要綱は。**

総務課長　地域社会の向上・発展と地域間の均衡を図るため、地域コミュニティの拠点である集会所の維持管理を支援するものである。補助金の額は原則として自治区などが設置し管理する集会所の規模に応じた額と、世帯数に応じた額1世帯当たり600円の合計額を算定し交付している。

問　**本町では、こども食堂支援事業補助金がある。執行率を確認したところ令和6年度約17％、令和7年度約41・6％と執行率が低い。補助金自体の見直しを再検討すべきでは。**

福祉介護課長　こども食堂などの運営団体から声を聴いた上で、現要綱の一部改正も視野に入れ、補助金を使いやすいように改善する。また、地域の拠点として、こども食堂を増やしていく支援を続けたい。

問　**いきいきサロン事業も3年連続で執行率が約70％。現行制度と実態のミスマッチの可能性が高いと思わ**れるが。

福祉介護課長　当初予算額については、各サロン活動の活発化や、新規サロンの増加分を考慮した金額を見込んでいる。しかし、実績では参加者の高齢化に伴う移動手段の喪失や、施設入所に加え、後継者不足と、運営負担の増大、また新規の参加者がいないなどの理由により、全体的に少ないことが原因である。

問　**集会所などの民間施設が避難所・避難場所として設定されている件数は。**

危機管理課長　町内会が所有している集会所のうち、指定避難所は7カ所である。

問　**自主防災組織補助金を活用し、防災講座や避難訓練などを行った団体は。**

危機管理課長　直近3年間においては、延べ25の自主防災組織が補助金を活用し、9組織が防災教室や避難訓練を実施した。

問　**各地域の安心・安全な活動拠点である集会所を、住民にとってもっと利用しやすくするために、次年度以降の予算拡充など柔軟な対応を講じるべきでは。**

総務課長　本町としては、集会所が果たす役割の重要性は認識しつつ、各地域の主体的な活動に委ねており、現時点で次年度以降の予算拡充を行うことは考えていない。



新たなコミュニティの場へ（中飯降地内にある睦集会所）

道路異常を発見した際の通報は

［建設課長］いつでもまず役場へ連絡を



滝ノ上万記 議員

問　**令和7年7月の暴風雨により町内各地で倒木が発生。住民が道路上で倒木などの異常を発見した場合、どこへ、どのように通報すればよいのか。**

建設課長　道路で倒木や異常を発見した場合は、まず役場へ連絡してほしい。平日の業務時間内はもちろん、夜間や休日でも、緊急を要する場合、役場へ電話をすれば、総務課や日直を経由して建設課へ連絡が入る体制となっている。また、道路は国道・県道・町道などによって管理者が異なるが、住民がそれぞれの管轄を把握することは難しい。国道や県道についても建設課へ連絡すれば、内容を確認し、本町から所管する機関へ連絡することになる。

問　**電話以外に、本町公式ＬＩＮＥからも道路異常を通報できるとのことだが、夜間や休日でも対応可能か。**

建設課長　ＬＩＮＥでは、道路の不具合や水漏れ、不法投棄などを通報することができる。写真や位置情報も送信できるため、現場の状況を正確に把握でき、迅速な対応につながっている。しかし、夜間や休日には即対応ができない。

問　**倒木などで道路がふさがれて通行できない緊急事態では、迅速な対応が必要となる。夜間や休日に電話で通報があった場合、どのような体制で対応しているか。**

建設課長　緊急性がある場合は、課長から課員へ連絡し、現地確認を行う。職員だけでは対応できない場合や重機などが必要な場合には、地元の工事業者へ依頼して対応する場合もある。

問　**ＬＩＮＥでは、夜間や休日には対応できない。和歌山県や和歌山市などで導入されている「My City Report（マイシティレポート）」のようなシステムの導入を検討しては。**

建設課長　システムの存在は把握している。今後、夜間や休日の運用方法、現在のＬＩＮＥ通報との比較、導入費用やランニングコスト、職員の負担などについて、実際に運用している自治体から情報を収集し、より効率的で迅速に道路異常へ対応できる手法について研究・検討していく。

まとめ　道路上の倒木などは重大な事故につながる可能性がある。住民が道路の異常を発見した際に「どこへ、どのように通報すればよいのか」を迷うことなく、夜間や休日であっても迅速に対応できる体制を整えることが重要である。住民の安全確保、さらに職員の負担軽減を両立できる、より実効性のある通報・対応体制の構築を求める。



国道480号で発生した倒木被害（道の駅くしがきの里付近）

地域の人材を防災につなぐには

［町長］人材バンク創設も検討



下村　清隆 議員

問　**大規模災害で行政の支援がすぐに届かない可能性もある中、自助・共助・公助を踏まえ、どんな備えが必要か。**

危機管理課長　自助約7割、共助約2割、公助約1割と言われている。耐震化、家具の転倒防止、最低3日分、できれば1週間分の備蓄、自主防災組織の活動支援、地域ぐるみの訓練、防災士などの育成を進める。地域に眠る防災の知識や経験を生かす効果的な仕組みも研究する。

問　**町民への聞き取りでは「自主防災組織を知らない」「訓練していない」「訓練したいが方法が分からない」などの声があった。一方、積極的に訓練する地域もある。地域の防災活動の現状は。**

危機管理課長　防災資機材の点検や活動調査票により、研修・訓練の状況を把握している。防災学習や防災士による講演、救命・初期消火・避難訓練、個別相談などを行い、活動が十分でない地域にも防災教室を案内している。

問　**防災士、災害ボランティア経験者、元消防職員・消防団員、元警察官、医療・福祉、建築・土木関係者など、地域には人材がいる。こうした人材を平時から地域の防災活動につなげる考えは。**

参事（総務・厚生担当）　現在、防災士の資格保有者は把握しているが、多様な人材を網羅的に把握するまでには至っていない。人材の発掘は地域防災力の向上に加え、経験や技能を持つ人の「居場所と出番」を広げる取り組みとして意義がある。運営方法や登録体制を整理し、他自治体の事例も踏まえて研究する。

地域防災人材バンクの構築を

問　**元消防職員や元消防団員が避難訓練や応急手当を指導し、災害ボランティア経験者が被災地での経験を伝え、医療・福祉関係者が要配慮者への支援を助言する。災害時の人員派遣ではなく、平時に知識や経験を持つ人と、防災活動に取り組みたい住民をつなぐ仕組みである地域防災人材バンクの構築について、町長の考えは。**

町長　まず、地域にどのような人材がどれだけいるのかを知る必要がある。提案の地域防災人材バンクはしっかりと取り組んでいく必要があると理解した。防災を自分事として捉えてもらうため、さまざまな手法を用い、人材バンクの創設も含め検討する。



町内で実施された応急手当訓練　災害時の力になる

まとめ　人材バンクの構築はあくまでも一つの手段であり、幼少期からの防災教育なども含め、議会と行政で議論していきたい。

見守り配食サービスの充実を

［町長］前向きに考えたい



松岡　宏行 議員

問　**配食見守りサービスとは。**

福祉介護課長　配食を活用して高齢者などの見守り訪問で、安心感の提供や孤独死の防止に努めている。介護保険制度で週3回利用者は73人。2業者に委託している。

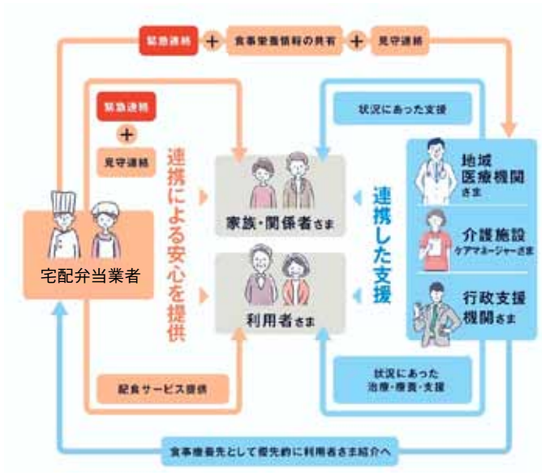
問　**一委託業者が効率的な見守りサービスを充実するため「在宅・不在」「食事状況」「面談時の疑義」などをスマートフォンで入力して管理するシステムを作った。この業者は、利用者の情報を共有化しないか、と1回550円の委託料の範疇ととらえ提案しているが。**

町長　このシステムは時代に即した素晴らしいものであり、町民にとってプラスに働くものだと受け止め、庁内で検討し、前向きに取り組みたい。

問　**介護保険制度での拡充、課題のある町民のために一般施策で取り組んでは。**

副町長　一般施策での見守りは必要。見守りが必要な方に対する事業を検討したい。

町長　私の両親は週3回利用しているがサービスの対象外。配達員が「お父さんの調子がおかしかった」とコメントがあり、本当にありがたかった。栄養バランスの取れた食事、配達員とのコミュニケーションは対象者の健康保持、孤独感の解消につながり、ひいては介護保険や国民健康保険の給付費抑制に反映される。



委託業者が目指す包括支援ネットワーク図

町民の健康のため医療機関との連携を

問　**介護保険・国民健康保険の給付費が合計で41億円。委託料は303万円、この額を増額して課題のある町民を支援しては。**

町長　前向きに考えたい。

問　**各種検診受診率と取り組みは。**

健康保険課長　肺がん、乳がんなどの受診率は県の平均以上。保健師の地区担当制により訪問、相談、健康教室など地域に出向いている。

問　**庁内委員会「健康かつらぎ21推進委員会」を定期的に開催しては。**

副町長　関係各課による課題の共有や、取り組みの場として開催しているが、定期的に開催して健康課題や取り組みを共有したい。

問　**紀北分院、町医師会、町歯科医師会と町長が一堂に会して懇談しては。**

町長　健康課題・健康づくりを懇談する場は重要な機会なので働きかけたい。

下水道　今後の見直しは

［町長］事情にあった取り組みも必要



数本　珠代 議員

問　**下水道整備区域が縮小に至った経緯、生活への影響は。**

上下水道課長　縮小の最大の理由は、国の方針変更。下水道の整備から既存施設の維持管理へ。持続可能な事業運営のため、大幅な見直しや合併処理浄化槽を検討してもらう。

問　**縮小された地域は。**

上下水道課長　河南の平野部と短野全域および高田・背ノ山・笠田中・笠田東・佐野・大谷・蛭子・丁ノ町・妙寺・中飯降における未整備地域を縮小。

問　**合併処理浄化槽の補助制度は。**

住民環境課長　5人槽で33万2000円、7人槽で41万4000円、10人槽で54万8000円。その他に加算などの補助制度がある。

問　**敷地が狭いなど合併処理浄化槽を設置できない家への救済・代替案は。**

住民環境課長　コミュニティプラント（ミニ下水道）などが考えられるが、下水道と同様に維持管理などが必要であり、導入には慎重な判断が伴う。近隣との浄化槽共同利用や、許可を得た上での道路への浄化槽埋設なども考えられるが、十分な検討が必要となる。

問　**一度縮小した下水道整備区域を見直すお考えはあるのか。**

町長　国の方針転換や財政負担を考慮し、現状は既存施設の維持管理へとシフトしている。今後は区域外の実情なども考慮し、状況を見ながら事情にあったものに変えていく取り組みも必要と考える。

まとめ　本町として公平で将来を見据えた、生活排水対策を進めることを要望する。

買い物弱者を救え！

商業施設誘致

問　**商業施設誘致の活動や進捗状況は。**

参事（建設・産業担当）　県内事業者5社・県外事業者5社の計10社に誘致活動したが、誘致には至らず。現在も1社検討中。

町長　妙寺地区の賑わい創出は重要課題。新たに企業進出しやすいよう、支援体制も構築する。しかし、地理的な条件、人手不足、人件費や金利の高騰など、さまざまな厳しい状況になっている。スーパーが仮にできても、地元で買い物をすることが大事。次の手段として公共施設などの一部に商業施設が入ることも含め、さまざまな考えをもって協議を進める。これからも継続して誘致活動を行っていく。今はデマンド乗合交通「かつらいど」を利用し、買い物環境を補ってほしい。

まとめ　何としても「絵にかいた餅」にならないように、町長の強いリーダーシップによる取り組みを求める。



狭い敷地の生活排水　どうすればよいのか

総務産業常任委員会

幅広い視点から調査・検討を進める



委員長　滝ノ上　万記

改選後、初めての委員会を開催した。当委員会は、企画、財政、総務をはじめ危機管理、税務、農林業、まちづくり、建設、上下水道など幅広い分野について調査・審査を行うことを委員間で共有した。町の発展と町民の暮らしを支えるため、引き続き幅広い視点で進める。



1年目は下水道の現状を学ぶ（伊都浄化センター）

厚生文教常任委員会

どんな提案にできるか楽しみ



委員長　大山　希世

改選後、初めての委員会を開催。2年間の方向性を決めるため、委員一人一人が町の調査研究が必要と考える課題を持ち寄り議論した。

その結果、優先課題として、改選前まで取り組んでいた「ごみを減らすための政策提言」に向け、継続して調査することとなった。また、所管事務調査に加え、国保税・介護事業・不登校・地域猫活動などの現状や仕組みを学び見識を深める。



奈良県斑鳩（いかるがちょう）町の取り組みの1つ
本町でもオリジナルな取り組みを

議会運営委員会

政治倫理とハラスメント協議再開



委員長　東芝　弘明

委員会は、議会議員政治倫理条例案および議会ハラスメント防止条例案の協議を引き継ぎ、完成を目指す。新人議員にとっては初体験。条文の逐条（ちくじょう）的な確認と協議を開始した。来年4月から、2つの新条例を施行予定。



議場外の議員の政治倫理にもルールを作る

デジタル化推進特別委員会

業務の効率化を目指して



委員長　大山　希世

ペーパレス化と業務効率化を図るため、改選前の経緯と議論した内容を改めて確認した。システムソフトを実際に体験する準備を進めた。今後は、それを踏まえ議会が導入を希望するシステム・端末の準備方法・接続環境について議論し、予算要求を行う。

紙の資料からデジタルへ（デモ体験）

新庁舎 建設規模3度目の変更 令和12年供用開始を目指す



庁舎建設は仕切り直し　9か月遅れに

庁舎建設は仕切り直しを余儀なくされ、10月16日、再公告を行って新たに募集がスタートする。令和9年2月に優先交渉権者を決定、同年3月に契約議案が議会に提出される予定。この仕切り直しによって、庁舎建設は9カ月遅れる。

令和6年2月、現庁舎の敷地内でかさ上げして建設するという「かつらぎ町新庁舎建設基本構想」を策定した。この基本構想は、庁舎建設をまちづくりの手段として、商業施設の誘致による新たな賑わいの創出を目指すことを目的とし、官民連携事業（PFI）での建設を表明。新庁舎の延べ床面積は6000㎡で、建設場所は現庁舎のエリアというものだった。

令和7年5月、6000㎡では建設費が嵩みすぎるとして、計画を縮小した。

令和7年11月「※PFI事業をBTO方式で」行うことを表明。建設延べ床面積3700㎡で、建設場所は保健福祉センターの西側とした。

基本構想では、庁舎の建設、旧庁舎の解体・撤去の全てをPFI事業で行うとしていたが、PFI事業の上限額を34億3800万円に設定し、旧庁舎などの解体・撤去、保健福祉センターの改修などは町直営で実施するとした。

令和8年6月、参加を表明していた全ての事業者が辞退したのは、労務費と資材費の高騰が主な理由だった。仕切り直しを余儀なくされた町は、PFI事業の上限額を変更しないで、延べ床面積を3700㎡から2700㎡程度に縮小した。供用開始は令和12年5月を目指している。

議会としては、議長を除く全議員で特別委員会を組織して、執行部と協議している。



庁舎建設調査検討特別委員会
委員長　**松岡　宏行**

編集委員の取材で分かったこと

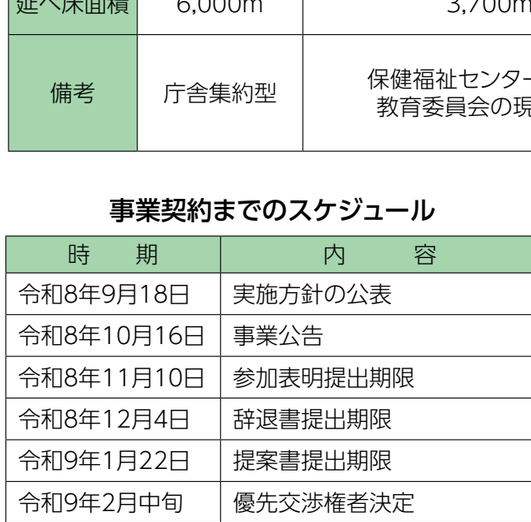
2700㎡程度の新庁舎は4階建て。1階は浸水を想定し、会議室や倉庫などとし、2階から4階が庁舎の本体で、議会棟もここに入る。

事業計画の表題は「庁舎建替及び賑わいの創出に係る官民連携事業」。しかし、商業施設の誘致は任意事業なので、事業者が計画を提案しない可能性もある。商業施設ゾーンおよび駐車場の敷地面積は7426㎡を占め、新庁舎建設ゾーンの2・9倍となる。

新庁舎建設の総経費は

PFI事業は、上限34億3800万円の範囲で行われる。ここに旧庁舎などの解体・撤去、保健福祉センターの改修などの費用10億円（概算）が加わる。新庁舎建設に関わる総経費は、44億円を超える見込み。

庁舎予定地



延べ床面積の推移

年　月	令和6年2月	令和7年5月	令和8年9月
計画等	基本構想	見直し	参加事業者辞退による見直し
延べ床面積	6,000㎡	3,700㎡	2,700㎡以上
備考	庁舎集約型	保健福祉センターの活用 教育委員会の現状維持	保健福祉センターと 西事務所の活用 教育委員会の現状維持

事業契約までのスケジュール

時　期	内　容
令和8年9月18日	実施方針の公表
令和8年10月16日	事業公告
令和8年11月10日	参加表明提出期限
令和8年12月4日	辞退書提出期限
令和9年1月22日	提案書提出期限
令和9年2月中旬	優先交渉権者決定
令和9年3月	事業契約の締結（議会の議決）

PFI事業をBTO方式で

民間資金による庁舎建設後、町は庁舎の所有権を取得し、維持管理などのメンテナンスを事業者が担う。民間が借り入れた資金およびメンテナンス費を平準化し、20年かけて返済する（BTO方式）。

PFIでは、事業者が設計、施工、維持管理などを一体で行う。町は建物に不可欠な性能を示し、これに基づいて事業者の提案を受ける。



広報広聴特別委員会

引き続き主権者教育を

改選後、初めての委員会を開催した。議会の活動を町民に分かりやすく伝えるとともに、町民の声を議会活動に反映させるため、取り組んでいくことを委員間で確認した。

具体的には、これまでも取り組んできた議会モニターや自治区長会と意見交換会を継続して実施する。

さらに、今年度も町内の中学3年生を対象とした主権者教育を継続する。

今後も、町民の声を大切にし、世代を問わず多くの町民が議会を身近に感じる広報・広聴活動を進めていく。



委員長　滝ノ上　万記



今年度は全議員で中学校へ行きます
（生徒に配付するパンフレット）

研修報告

議会だより編集特別委員会

全国1位の川西町の講演を聞く

令和8年度町村議会広報研修会に委員と事務局職員で参加した。

最近の研修会では、全国町村議会議長会の広報コンクールで1位になった議会の代表が講演を行うようになっている。今回は山形県川西町（かわにしまち）の橋本欣一（はしもときんいち）委員長が講演を行った。

川西町は、議会事務局のサポートなしに議員で紙面編集をしており、紙面の校閲と校正の面で委員長の負担は重いが、広報アドバイザーと一緒に紙面を作成してるところに特徴があった。

議会だよりが住民に読まれているかどうか、街に出てシール投票を行っていた。本町でも、こういう努力もしてみたい。



オリジナルあふれる編集から学びたい



委員長　東芝　弘明

令和8年度

議会モニターの声 monitor's voice

町民の声を議会運営に反映するため、議会モニター制度を実施している。提出された感想などレポートの一部を原文のまま抜粋し掲載する。

本会議



新旧の融合が鍵だと思います。併せて、議会の独立性が重要となってくるかと考えます。行政のチェック機能としての議会を!

（西（にし）　宏紀（ひろき）さん）

映像配信を見て



要望としては、税条例など改正前・改正後の新旧対照表を審議する際、画面上に該当箇所を拡大表示するなど、視聴者が論点を追いやすくなる工夫をご検討いただきたい。

（門（かど）　大貴（だいき）さん）



字幕か文字おこしがあれば言葉だけでなく、文字を読んで深く理解できるようになるのではないかと感じました。

（松岡（まつおか）　真弓（まゆみ）さん）

議会の流れをじっくり見る機会がなく今回視聴してとても新鮮でした。議長・副議長の選出の際、所信表明が行われていましたが2人以上立候補される方がいなかったのは残念でした。

（松岡（まつおか）　真弓（まゆみ）さん）

物価高騰対応や災害復旧など、町民の生活に直結する施策が迅速に補正予算化されている点は評価できると感じました。

（門（かど）　大貴（だいき）さん）

総務産業常任委員会



今回、初めて委員会に参加したが、あらかじめ答弁内容がある程度準備されている議会とは異なり、その場の質問に応じて質疑応答が行われる形式であったため、担当者の率直な考えや現場の温度感をより身近に感じることができ、大変興味深かった。

（宮本（みやもと）　菜々子（ななこ）さん）

地域おこし協力隊の募集が山間部に偏っている点について疑問が残った。一方で、比較的人口の多い山麓エリアである妙寺や笠田においても、空き家問題やスーパーの閉店による生活利便性の低下など、住民の日常生活に直結する課題が存在している。

（宮本（みやもと）　菜々子（ななこ）さん）

議会だより編集委員からのお願い

議会を傍聴してみませんか

議会には、かつらぎ町に対し熱い思いを持った13人の議員がいます。

実際の審議を見聞きすれば、まちの動きがよく分かります。ぜひ議場へお越しください。



橋谷　典仁 副委員長

次世代シリーズ

がんばる人紹介

NEXT GENERATION

これからの「かつらぎ町」を担うのは君だ！

次世代シリーズ「がんばる人」は、スポーツや文化活動などで頑張っている子どもたちを紹介します。
学校の中だけでなく、さまざまな分野で一生懸命に取り組む姿を応援します。



質問事項

1. 今、頑張っていること
2. 始めたきっかけ
3. 将来の夢
4. かつらぎ町の好きなところ



【笠田小学校6年生】
嶋田（しまだ）　葵（あおい）さん

1. 水泳を頑張っています。
2. 姉にすすめられて始めました。
3. オリンピックに出場することです。
4. 自然豊かなところです。



【大谷小学校6年生】
森實（もりざね）　佳奈（かな）さん

1. 陸上です。中・長距離を走ることです。
2. 中学生の練習を見て、走りたいと思ったからです。
3. 大学で駅伝を走ることです。
4. 西部公園に陸上のトラックがあるところです。







【妙寺中学校3年生】
名倉（なぐら）　大騎（だいき）さん

1. 学校の部活動のソフトテニスです。
2. 部活動紹介で先輩たちに憧れたからです。
3. 今まで育ててくれた親に親孝行をしたいです。
4. 自然豊かで果物も豊富でおいしいところです。

発行：和歌山県かつらぎ町議会　〒649-7192 和歌山県伊都郡かつらぎ町大字丁ノ町2160番地
TEL0736-22-0300㈹　FAX0736-22-0604　https://www.town.katsuragi.wakayama.jp/gikai/
編集：議会だより編集特別委員会

町議会
ホームページ

和歌山県
かつらぎ町議会